

届け天国へ

荒川区立第五中学校 三年

吉田 梨々花

拝啓

柳田先生、今年に残暑も殊の外厳しく感じる日々が続いております。

先日の8月15日は終戦記念日でした。なので私は「かわいそうな象」という戦争で殺されてしまった象のお話を読みました。

日本とアメリカの戦争が激しくなる中、上野動物園には三頭の象がいました。ですが、爆弾が落ち、おりが壊れ、町に暴れたしたら大変な事になります。なので、猛獣達は次々に毒によって殺されていきました。そして3頭の象もいよいよ殺さ

れることになりました。ですが、三頭の象はともかしこく、毒入りの食べ物をよけて食べたり、象の皮ふはとても硬く太い針でも刺さらず注射で毒を注入することができず、がしさせるしかないということになりました。それまでに職員さん達は必死に解決策を探しましたが、どれもダメでやせほそり弱ってく象の姿をただ見ていることしかできませんでした。ある日、職員さんが様子をみに行くと、ぐったりした体を必死に動かし食べ物を求めるのです。そんな姿に我慢ができず、職員さんは食べ物を通してしまいました。ですが、象達は亡ってしまいました。

私はこの本を読んで、この時象達を助ける方法は無かったのかなと思いました。そして、今日の日本の技術や知恵を使えば助すけることが出来たの

ではないかと思ひます。ですが、その時を悔やみ前に進められないより、今は過去の反省をふまえた上での解決策を考える事が何より大切だと思ひました。

もし、戦争が起きてても、人間も動物も平等に助けられ、何より戦争の起きない平和な世界を目指し、私達一人一人にも心の変化が起こるような本でした。ぜひ読んでみて下さい。

敬具

平成二十八年八月二十三日

吉田 梨々花

柳田邦男様